

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせて頂きます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2006年1月1日～2022年12月31日の間に、同種造血幹細胞移植を行うために虎の門病院血液内科に入院し、移植後に可逆性後白質脳症症候群 Posterior reversible encephalopathy syndrome(PRES)を合併した方

【研究課題名】

同種造血幹細胞移植後に合併するPRES（可逆性後白質脳症症候群）について

【研究の目的・背景】

《目的》

単一施設にて白血病やリンパ腫などの血液疾患に対して、成人に同種造血幹細胞移植をおこなった症例において、移植後にPRESを合併した症例を後方視的に解析し、リスク因子などの特徴や治療法、予後について検討します。

《研究に至る背景》

成人において同種造血幹細胞移植後に合併するPRESは移植後に合併する中枢神経疾患の中でも稀であり、その疾患の特徴や治療についての報告は少なくあまり知られていません。

【研究期間】

2023年10月24日～2027年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究成果発表後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、移植時の病期、併存疾患）
移植情報（移植源、移植前処置、GVHD 予防、合併症、急性 GVHD 発症率、再発）
PRES について（発症日数や症状、発症前後での血圧推移、持続期間、髄液検査、画像所見、治療、予後）

【研究代表者】

該当無し

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：血液内科 内田 直之

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当無し

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024 年 1 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 内田直之

電話 03-3588-1111(代表)